

## 2023年度タウンミーティングについて

若葉が爽やかな過ごしやすい季節となりましたが、皆様お元気でお過ごしのことと存じます。

さて、本年度のタウンミーティングを以下の日程で実施します。本年度は、前段で飯田市ゼロカーボンシティ推進課により、補助制度に関する説明があり、引き続いてタウンミーティングを行います。

本年は、令和4年度に生まれたお子さんが3人しかいないという事実に対して、如何にして令和4年度生まれのお子さんのいる家庭を増やすか、若いお父さん、お母さんのご意見ご提案を是非伺いたいと考えております。お忙しい時期とは思いますがご参集いただき、子育てに関するご意見やご要望、その他まちづくりの活動についてご意見を伺いたいと思っております。

多くの皆様のご参加をお待ちしております。よろしくお願い致します。

- 1 日程 6月12日(月) 2区集会所 19:00～  
6月13日(火) 3区集会所 19:00～  
6月14日(水) 4区集会所 19:00～  
6月15日(木) 5区集会所 19:00～  
6月16日(金) 6区コミュニティーセンター 19:00～  
6月19日(月) 7区龍峽会館 19:00～  
6月20日(火) 8区公民館 19:00～

### 2 内容

#### <前段>

脱炭素先行地域補助制度の詳細説明：市ゼロカーボンシティ推進課

#### <タウンミーティング>

- ①今年度の主な施策について
- ②令和4年度生まれのお子さんのいる家庭の移住受入れ推進
- ③子育て環境に関する要望
- ④その他

### 3 その他

参加のお申し込みは不要です。どなたでもご参加いただけます。

# 赤十字は、 動いている！

**+ SAVE365**

Japanese  
Red Cross Society

知らなかった！

赤十字は、災害が起きた時に駆けつけるだけじゃないんだ。

365日、それぞれの部門がそれぞれの場所で動き続けているんだね。

災害に備えた訓練、知識や技術の普及、

物資の整備、医療現場や海外での活動などなど、

すべてが人を救うことにつながっている。

このかけがえのない日常を支える赤十字の日々の活動を、

私が伝えていきます。



Japanese  
Red Cross Society

**TEAM  
SAVE365** 一緒なら、救える。

日本赤十字社の活動は、皆様の寄付によって支えられています。



**日本赤十字社**  
Japanese Red Cross Society



# 校長室だより

5月号

令和5年5月18日

文責：校長 浅川 浩

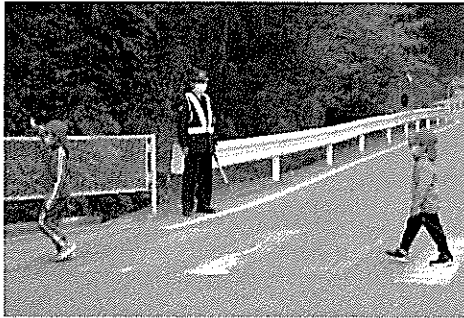
## 「交通安全教室」を行い、歩行・自転車の学習をしました

4月25日(火)に、飯田警察署の名取さん、市交通安全指導員の関島さん、川路まちづくり委員会会長の中島さん、川路自治振興センターの浅野さん、PTA施設校外指導部の皆さんのご協力をいただき「交通安全教室」を実施しました。ありがとうございました。

飯田警察署の名取さんから、「止まる」「(左右前後を)よく見る」という「安全確認」を守れば事故は防げるとお話をお聞きしました。そして自転車に乗るときに守る5つの点を教えていただきました。

- ①(自分に合った)ヘルメットをかぶる
- ②体に合って、整備された自転車に乗る
- ③自転車は左側から乗って、左側に降りる(右側で乗り降りすると後ろからきた車にぶつかる)
- ④左右に曲がるとき合図を出すことを知っておく
- ⑤乗るときは後ろも確認する。

お話を聞いた後、1~3年生は道へ出て歩行練習、4~6年生は自転車走行練習を校庭のコースと道路に出て行いました。今後もこの交通安全教室の体験を生かして、安全な歩行や自転車乗車ができたらと思います。



実際に安全確認をして歩きました



校庭で自転車の乗り方を確認して、道路へ出ました

## 「引渡し訓練」が行われました

4月28日(金)に、川路保育園、おむすび保育園と合同で今年度の引き渡し訓練を実施しました。昨年度まで8月の実施していた訓練ですが、年度の始めから、体制を整えて災害備える必要があるために4月実施としました。最近各地で地震もおきています。しっかり準備をしていきたいと思ひます。

この訓練が中学校の参観日と重なってしまい、大変ご迷惑をおかけしました。来年度は気をつけて計画したいと思ひます。



年度初めに、大切な訓練ができました

## 「あいさつ週間」がありました

5月8日(月)~12日(金)まで、あいさつ週間でした。

毎朝子どもたちは登校して、代表委員会のあいさつ当番や友だちに会うと元気にあいさつをしています。週間中は、あいさつができると、ホール前にある「あいさつの木」に自分の名前を書いた葉っぱカードを貼っていきました。12日の最終日には、あいさつの木が初夏らしい緑のきれいな葉に覆われました。これからもあいさつを大切に生活していきたいと思ひます。



若葉の茂る、「あいさつの木」になりました

<お知らせ> 校庭東側の赤松が1本枯れてしまっているのひ、今後伐採を考へております。この赤松の伐採について不都合等がありましたら、学校へご連絡ください。学校電話番号：27-2011

# 赤十字へのご支援・ご協力 ありがとうございます

平素より、赤十字活動へのご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

令和4年度、地区分区を通じてお寄せいただいている活動資金の見込状況及び活動報告は次のとおりです。

令和4年度活動資金見込 (令和4年9月末日現在)	<b>250,848千円</b>	(参考) 令和3年度活動資金実績 <b>261,640千円</b>
地区(市)扱い	<b>191,583千円</b>	<b>199,494千円</b>
分区(町村)扱い	<b>59,265千円</b>	<b>62,146千円</b>

※支部及び本社に直接お寄せいただいた活動資金は上記から除く。

## あなたのご寄付でできること

2,000円で



災害時等に配布する  
「毛布(1枚分)」を  
整備できます。

3,000円で



避難所生活の負担を軽減する  
「安眠セット(1人分)」を  
整備できます。

25,000円で



人工呼吸や胸骨圧迫を練習する  
「心肺蘇生訓練用人形(1体)」  
を整備できます。

100,000円で



AED(自動体外式除細動器)の  
使い方を学ぶ  
「AEDトレーナー(1台)」を  
整備できます。

※整備した物品は、長野県内各地で利用されます。

未来につながる  
赤十字活動



## 災害救護活動

令和3年8月の大雨災害や令和3年長野県茅野市土石流災害に際して、救援物資の配布や義援金の募集など、被災された方々を支援する活動を行いました。



## 赤十字プログラム

いつどこで起こるか分からない災害に備えて、日常生活に潜む危険や避難所生活で起こりうる問題等を学べる様々な講習会を、企業や団体、学校等で実施しています。

赤十字は、いかなる状況下でも  
「人間のいのちと健康、尊厳を守る」という使命に基づき、さまざまな活動を行っています。

# 活躍する赤十字ボランティア

日本赤十字社の活動は、  
たくさんのボランティアの方々にも支えられています。

## 人の役に立つ楽しさと 自分の成長にやりがい。

長野県赤十字救護隊 北信方面隊副隊長 清水 啓二さん



医療や警察、消防などと一緒に、地域の皆さまの安全を守り、災害現場ではつねに被災者目線に立って救護などのボランティアをさせていただいています。人の役に立つ仕事をすることが楽しく、感謝される喜びも得られる。さらには自分自身の成長も実感できる。それが私たちのやりがい。結局、「人のため」は自分のためなんです。

## 人の痛みや苦しみに目を向け、 「想像力」を行動の土台に。

赤十字健康生活支援講習 指導員 奥原 ます子さん



地域の防災訓練での講習やさまざまな機会をとらえ、高齢者、障がいを持つ人たちなど、地域に生きるすべての人の命を支える活動をしています。人の痛みや苦しみに目を向け、その人がどんな手を差し伸べてほしいと思っているのか「想像力をもって行動すること」。この赤十字のミッションが、私の行動の土台になっています。

## あらためて実感した “助け合い”の大切さ。

日赤須坂市地区 事務局 山岸 敦子さん



令和元年東日本台風(台風19号)災害時、私も避難住民の一人でしたが、赤十字奉仕団の皆さんとともに炊き出しなどの被災者支援活動を行いました。そこであらためて実感したのが「助け合い」の大切さ。その経験を活かして、安心して暮らせる地域づくりのために、地域とボランティアのパイプ役としてさまざまな活動をしています。

## 自分で自分の身を守る 防災教育を始めています。

諏訪市赤十字奉仕団 委員長 松木 文夫さん



豪雨災害をはじめ、さまざまな災害が発生した時に大切なことは、自分で自分の身を守るということです。それをこどもの頃からしっかりと身に付けてほしい。そして、こどもたちがたくましく未来を切り拓いていけるようにと願って、私たち諏訪市赤十字奉仕団は、小学生を対象にした防災教育への取り組みを始めています。

## 楽しくボランティアに取り組み、 大好きな仲間と出会いました!

更級農業高校JRC部のみなさん



地域の困りごとをどうしたら解決できるか、みんなでアイデアを出しあい、自分たちができる活動をしています。放置竹林や河川敷のカヤを活用する取り組みは、ボランティア活動をしている高校生の全国大会で発表しました。大好きな仲間たちと出会い、楽しくボランティア活動をしなが、自分自身の成長も実感しています。

# ウクライナ人道危機救援金

ウクライナ人道危機救援金実績  
(日赤長野県支部受付分)

**39,412千円**

(令和4年9月末日現在)



厳しい状況に苦しむ女性を元気づけるウクライナ赤十字ボランティア ©ウクライナ赤十字社

### <赤十字活動資金と義援金・救援金の違い>

#### 赤十字活動資金とは

医療救護やこころのケアなど、被災された方々への支援を行います。平時はAED講習や防災教育など、さまざまな人道支援活動を行います。

#### 義援金とは

被災された方々の当面の生活を支援するために配分されるもので、全額、被災された方々に届けられます。

※国内災害義援金と海外救援金の違いについて

国内の災害被災者を支援する目的で募集する寄付金を「国内義援金」と呼び、海外の被災者を救済する目的で募集する寄付金を「海外救援金」と呼んでいます。

皆さまの温かいご協力ありがとうございました。

### 令和3年度 決算報告

#### 収入

収入合計	<b>460,280千円</b>
内訳	
個人からの活動資金	404,182千円
法人からの活動資金	24,657千円
委託金・補助金及び交付金収入	2,989千円
資金繰入金	5,603千円
資産収入及び雑収入	11,305千円
翌年度当初の事業資金	11,544千円

※下記については歳入・歳出から除く災害義援金預り金収入など 153,203千円

#### 支出施設の維持管理に

15,424千円

事務管理のために 44,632千円

医療・血液・社会福祉事業の推進に 17,743千円

赤十字思想の普及と会員の増強に 35,685千円

10%

14%

6%

#### 支出

支出合計  
**460,280千円**

いのちを救う活動に 204,800千円

赤十字奉仕団の育成、青少年赤十字活動に 28,628千円

国際活動、赤十字の全国事業のために 65,270千円

各市町村の赤十字事業の推進に 48,098千円



日本赤十字社 長野県支部  
Japanese Red Cross Society

長野市南県町1074 TEL:026-226-2073

日赤長野県支部 検索

